



継続と改革

例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住所 日南市園田3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

会員増強・新クラブ結成推進月間

第3344回例会	No.07	2023.08.30	曇り
点鐘・国歌・ロータリーソング	18時30分 「日も風も星も」		
四つのテスト	河野通郎 君		
例会行事	サマー親睦会		

会長時間

お盆休みが終わり高校野球の決勝が終わりますと、学校ではそろそろ新学期のスタートとなります。

夏休みが終わる今の時期には同時に悲しいニュースも耳にします。子供の自殺です。特に宮崎県においては昨年度、子供からお年寄りまで含めた全体で、10万人当たりの自殺者数が日本で3番目に多い県となっており、令和3年は5番目、令和2年が2番目と毎年多くの方が亡くなられています。統計を調べますと、1番多い年代は70歳代です。その後は50代、60代、80代と続き、10代が1番少ない年代でした。意外でした。高齢の方は健康面、仕事関係など理由は様々あると思いますが、今日は子供の自殺についての、ある精神科医の言葉を紹介したいと思います。

最初に、夏休み明けに子供の自殺がなぜ増えるのかの質問に、「学校がしんどい子にとっては、夏休みはしんどい場所から離れられる一時。2学期は文化祭や修学旅行など多くの行事があり、クラスに溶け込めない子にとっては想像することすら恐ろしいのです。」どうして子供たちは自殺という手段を選んでしまうのかの問いには、「子供たちの世界はとても狭く、いろんな選択肢があることを実感できていない。小学校4年頃までは家庭が、高校1年頃までは学校が世界の全てのような気がします。行き詰まると、世界が終わった様な気持ちになりやすいのかなと思います。

中学生の35パーセントくらいが人は死んだら生まれ変わりができるという未成熟な死生観を持っている事が過去の調査で明らかにされている。大人の言う「死にたい」とは意味合いが違い、もう1回やりなおしたいみたいな感じです。

自殺を止めるにはどうしたらいいかの問いには、子供に限らず、死にたいと思う人は直前まで迷っています。実は死にたいのではなく、自分が直面している困難を解決したいと思っています。「解決できるかもしれない」「できないかもしれない」という思いの間で揺れ動いています。子供は非常に衝動的。子供が「死にたい」と考える手前で、「何か気になるな」「落ち込んでいるかもしれない」と感じる段階で声をかけていかないとはいけません。

「周囲の大人がサインに気付くのはなかなかむずかしいですね」の問いには、「一番気付きやすいのは友達。一番のゲートキーパー（命の門番）になると思います。親との関係が良くても悪くても正直に話しにくいものです。友達がSOSに気付く教育をすることが必要です。言葉が少ない、元気がないときは声をかけてみる。そこで様子が変わらなと思ったら、信頼できる大人にその子をつなげてあげることが大切です。」子供のSOSに気付いた時は？の問いには、「SOSのサインには、ダイレクトに「死にたい」「消えたい」と言ったりリストカットしたことを告白したりすることがあります。その時に大人が頭ごなしに「死んじゃだめ」「親が悲しむ」などと言った瞬間にその子は心を閉ざしてしまいます。追い詰められた子供たちと向き合う時に必要なのは、常識的・社会的にみてダメなことをする子に「ダメ」と正論を言ったり、物事を善悪の基準で判断したりすることを避けることです。「もしよかったら、そんなふうに考える理由についてもう少し詳しく教えて」と、事情を聞くところから始めないといけません。

「生きてりゃいいことあるさ」などと安易に励ましたり、「私も昔そうだった。こうしてうまくいった。」と武勇伝のように話すのもダメです。力任せに説得せず、「そうなんだ、ずいぶん追い詰められてる

んだね」と苦しみや考え方を理解する事に主眼を置くことです。「一緒に考えて行きたいから、こういうふうに話し合う場を作らない」と引き延ばすことも大事。死にたい気持ちには波があり、状況が変わることがあります。苦しみを全部取る事はなかなかできません。「死にたい」と誰かに語ると言うことは、「死にたいくらい辛いけど、そのつらさがほんの少し和らぐのであれば本当は生きたい」と言っているのです。

死にたい気持ちを受け入れてくれる人がいること、しんどい状況の中をなんとか生きてきたことの証人がいることが、生きる理由になると思います。」最後に「いじめはダメ」と言いつつ、ネット上では袋だたきをしたり、失敗した人を糾弾したり、社会やメディアでもいじめに類することを平気でやっていますがの問いには、「私が願うのはとにかく友達が声をかけること。元気がなかったり、教室でなかなか出番がなかったりする子たちに、余裕のある子が積極的に声をかけ、仲間はずれにしないことが一番大事である。」とむすんでおられます。

この話を聞いてまず思ったことは、相手の気持ちに寄り添う事が大事であるということ。それも真剣に。自殺の相談をされたことはありませんが、子供に話をする機会がある時に予備知識として心にとどめておきたいと思います。誤った方向性を示さない為に。

## 幹事報告

1. 9/2「就職支援セミナー」時の駐車場は、ATM利用顧客の駐車確保の為、宮崎第一信用金庫職員駐車場を利用するようお願いします。

## 例会行事

### サマー親睦会

サマー親睦会が行われました。参加者が15名と少なかったのですが楽しい親睦会でした。又、メンバーの皆さんの協力のもとオークションが行われ落札価格60,100円でした。



会長挨拶



野崎君の乾杯の音頭



チョット寂しいけど楽しい酒宴



出品物



オークションニア豊田とその弟子



築瀬次年度のメ



楽しい親睦会でした皆さん笑顔です

### 出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今 週	30	8 (3)	25	15	3	7	18	72.00%
出席免除	鬼束、小玉、清水、土屋、渡邊							
先取MU	黒武者、竹井、村社							
欠 席	榎木田、甲斐、菊池、中山、花盛、日高、古澤							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、[ocame@wing.ocn.ne.jp](mailto:ocame@wing.ocn.ne.jp) まで送信してください。